

# 甲斐駒ヶ岳山行記録

記 鳥切昇治



山域・山名 南アルプス 甲斐駒ヶ岳(2967m) 甲斐駒ヶ岳山頂から富士山

期 日 2015年10月12日(月)～10月13日(火)

メンバー 鳥切昇治単独

行動記録

10月12日(月) 天候:晴 アプローチ・尾白溪谷駐車場～七丈小屋～甲斐駒ヶ岳

早朝の為か一般道、高速道共に空いていた。体育の日の今日、トラックも少ない。海老名ICから圏央道に入り、中央道の双葉SAに寄る。朝食を食べてからカーナビをセットして登山口の尾白溪谷駐車場に向う。国道20号線、長坂の「道の駅」手前から左折し迷うことなく尾白溪谷駐車場に着いた。

結構車が駐車している。支度をして出発する。竹宇駒ヶ岳神社にお参りする。神楽殿もある立派な神社だ。尾白川に架かる吊橋を渡ると黒戸尾根登山口の標識があり登りになる。



竹宇駒ヶ岳神社

十二曲りと呼ばれる雑木林の中のジグザグ道を登る。登山道に栗のイガが一杯落ちている。熊が出て来ないかと気になる。途中尾白溪谷ハイキングコース(水平道)の道を分ける。十二曲りを登り切ると山腹を捲く様に左の方へ緩やかに登り、急坂を登り切ると笹の平分岐に着いた。横手からの登山道と合流する。丈の低い笹が生い茂る樹林の中を緩やかに登る。八丁坂と呼ばれる急坂を登る。紅葉し始めた明るい林が緩やかになると左手に鳳凰三山が見える所に出た。富士



山も見える。 刃渡りと呼ばれる鎖場



社、石碑がある刀利天狗

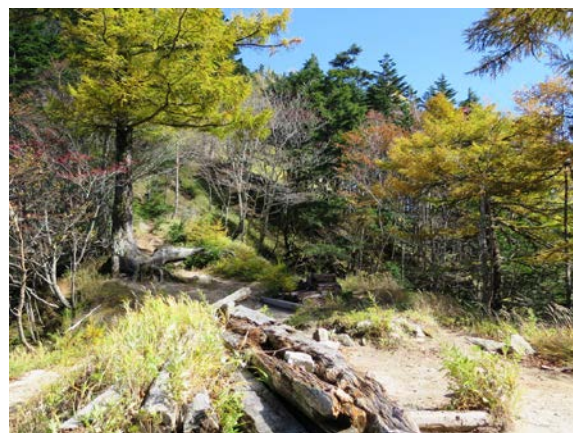
刃渡りと呼ばれる鎖が付いた岩稜を登る。更にハシゴ、鎖場の急坂を登ると右手に刀利天狗の石碑の所に出た。木製の社や石碑がある。

狭い尾根を通り黒戸山の山腹を右の方にトラバースして行くと樹林の中の下りになる。結構下る。下り切るとコルに出た。五合目小屋跡の様だ。社があり、男女のペアが食事をしていた。ここで昼食の大休止とする。



五合目の社

祭日なのに下って来るパーティが少ない。黒戸尾根はきつい登りが続くから敬遠されるのだろうか？



下り切ったコルの五合目



七丈第二小屋

その分静かな登山で良いのだが。

ここからハシゴ、鎖場の急登を登ると程なく七丈第一小屋の前に出た。1時10分過ぎで、意外と早く到着した。第二小屋に回れと言われ、そこで宿泊の手続きをする。七丈第二小屋が宿泊場所になっている様で石油ストーブが焚かれ暖かい。第一、第二小屋共に小さい小屋だ。第



一小屋の前に流し台があり水がたれ流しされている。

夕食が5時と言っていたのでその時間までに戻れば良いと写真を撮りに散策に出掛ける。念の為、行動食と水を持って空身で小屋を出る。第二小屋のすぐ上に整地されたテント場があり鳳凰山地蔵岳のオベリスクと左手に富士山が見える。急坂を登る。森林限界を越え、低いダケカンバと這松帯に変わる。上から



テント場から鳳凰三山



登って来た黒戸尾根(左)は紅葉している

た鳥居と石碑が立つ八合目に着いた。甲斐駒ケ岳の頂上が見える。鳳凰三山と富士山が大きくなった様を感じる。登りは3時までと決めていたが、まだ2時を回ったばかりなので甲斐駒の頂上まで行くことにする。写真撮影と景色を眺めながら登る。山頂に近くなると昨日降った雪が日陰に残っている。駒ケ岳神社本社と書かれ

見ると登って来た黒戸尾根は結構紅葉している。40分程で壊れ



八合目から甲斐駒ケ岳



駒ケ岳神社本社

た石碑と石の社があるピークに着いた。時刻は3時5分前。そこから甲斐駒ケ岳山頂は直ぐだ。誰もいない甲斐駒ケ岳山頂に立つ。山頂の360度の眺めは素晴らしい。北岳が白く見える。多分昨日降った雪が残っているのだろう。

北アルプス、仙丈岳と八ヶ岳は雲の中だけど頂上の石社をグルッと回って写真を撮りながら眺め



甲斐駒ヶ岳山頂の石社



鳳凰三山越しに富士山

を満喫する。七丈小屋へ下る。日はまだ高いが黒戸尾根は東側なので日陰になるため注意して下る。1時間弱で七丈小屋に戻った。第二小屋に入ると入口のウスベリの上でコンロを炊いて食事をしている。奥に5~6人が横になって休んでいた。照明は入口にある1灯だけでソーラーの様だ。夕食は第一小屋の方だった。第一小屋は通路を挟んで両側がウナギの寝床になっている。長テーブルで夕食を頼んだ3人だけで食事する。レトルトカレーに海老フライ2本、厚焼き卵1切れにフルーツゼリーが付いている。甲武信小屋よりずっとまじだ。美味しく頂いた。第二小屋に戻って寝る場所で記録を書いていると消灯したいと言う。まだ6時前だがOKする。キャップライトで記録を書いていると隣の人のイビキがうるさい。仕方なく毛布を掛け横になる。今夜はイビキで辛い夜になりそうだ。



新雪の北岳

コースタイム

《往路》自宅 4:16—4:46 海老名IC—5:58 双葉SA 6:30—6:38 須玉IC—6:58 尾白溪谷駐車場 (自宅～尾白溪谷駐車場 走行キロ数 160km)

尾白溪谷駐車場 7:36—8:00 黒戸尾根登山口—8:40 大曲り上 8:46—9:33 笹の平分岐—(9:50~9:55)—(10:56~11:00)—11:56 五合目小屋跡 12:23—13:10 七丈小屋 13:27—14:05 八合目 14:08—14:55 甲斐駒ヶ岳山頂 15:15—16:20 七丈小屋(第二)(泊)

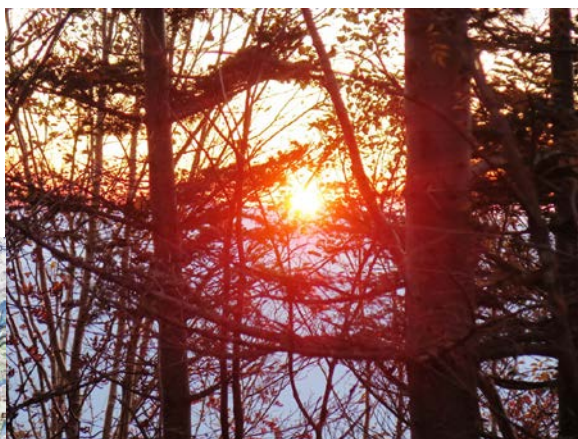
10月13日(火) 天候:晴 七丈小屋～尾白溪谷駐車場～帰宅

時計を見ると午前1時。コンロを焚いて食事を始めた者がいる。出て行ったのが2時頃。3時過ぎに又コンロを焚き出した3人のグループ。狭い小屋なので仕方が無いのかもしれないが、寝ている者にとってははなはだ迷惑だ。コンロは外で焚いてもらいたいものだ。早発ちするなら寝てい



る者に迷惑にならない様マナーを守って欲しいと思う。4時前によく静かになる。

5時前に起きてパン、スープ、コーヒーの朝食を摂る。5:45am頃小屋前で日の出を迎えた。樹間から真っ赤な太陽が昇って来た。昨日頂上を踏んでいるので、明るくなってから下山する。寒い。五合目の小屋跡でウインド



七丈小屋で迎えた日の出

ブレーカーと手袋を脱ぐ。コメツガとシラビソの樹林を登り返す。黒戸山の山腹をトラバースして下り、刀利天狗に着く。ここから鎖場、ハシゴがかかる急坂を下る。

昨日登って来た時は結構大変だったが苦にな



登山道に架かる階段

らずに下る。刃渡りを過ぎる辺りから登山者に出合う。ほとんど単独だ。ザックに鈴をつけて下る。八丁坂を下り笹の平分岐を通過し、水平道から十二曲りを下る。

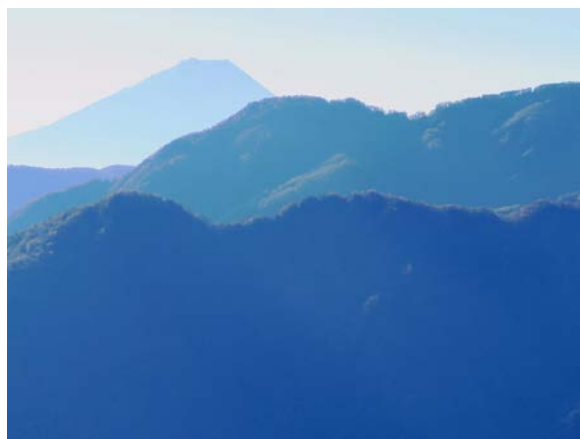
黒戸尾根登山口に着いて七丈小屋開設が書かれた看板を読むと下に七丈小屋は北杜市市営ではないと書かれていた。吊橋を渡り竹宇駒ヶ岳神社にお礼のお参りをして尾白溪谷駐車場に戻った。

帰路は国道20号線に出て韮崎ICから中央道に入る。時間が早いせいか車が少ない。談合坂SAで昼食、八王子JCTから圏央道に入り、海老名ICで一般道に下りて13時過ぎに自宅に帰って来た。

コースタイム

七丈小屋 5:50—6:25 五合目小屋跡 6:30—7:14 刀利天狗—8:24 笹の平分岐—9:30 駒ヶ岳神社—9:40 尾白溪谷駐車場

《帰路》尾白溪谷駐車場 10:10—10:45 韮崎IC—11:30 談合坂SA 12:00—12:15 八王子JCT—12:29 海老名IC—13:20 自宅 (全走行キロ数 319km)



黒いシルエットの富士山

以上